

会報 平成おやじの会

野球部との交流試合(3年生)



3年生、初回8点 おやじを圧倒

★参加者の声 おやじの会 田中 隆幸さん(山の手ビアーズ)

・毎年この会で、中学生と野球対決するのを楽しみにしている親父です。今年は、3年生の娘と闘える最後の年だったので、朝から気合い充分で試合に臨みました。投げて・打って親父達は奮闘しましたが結果は2敗・・・トホホ。来年からも、少年野球の教え子達と対戦するのを楽しみにしています。

キャプテン 丸山晃平さん 今日野球をするのが久々でしたが、3年全員が現役中とは違っのびのびとまた別の野球を楽しめたと思います。おやじの方々も桁違いのパワーを発揮してください、私たちも新たな目標ができた気がします。とても楽しかったです。



野球部との交流試合(1・2年生)



おやじ惜敗 1・2年生快勝



■ **今野さん試合後記**：今年の野球部との交流戦は、なんと全敗。引退した3年生との試合は、初回に大量失点してしまいましたが、まあ卒業記念のご愛嬌かなと。でも、「おやじチームに取られた点数×5倍のグラウンド走」を課せられた1・2年生チームについては、彼らが本気だったとはいえ、負けてはいけませんでした。帰宅した息子(次男)からは、ダブルプレイの場面について、さらりと「(おやじ達は)足が遅い」と言われる始末。伊藤先生の部報にも「遊びでは無い」と書かれており、1・2年生チームが成長するための手ごわい相手であり続けたいものです。足が遅くなっても、体力が低下しても、各部の(特に1・2年生チームの)成長・強化につながる部活動交流戦であればと思いますし、それが、おやじの心技体の維持にもつながれば、と思っています。

＜撮影：種田＞